



日本セックス・カウンセラー・セラピスト協会 (JASCT)について (トピックス)

山崎, 高明

(Citation)

神戸大学医学部神緑会学術誌, 1:74-76

(Issue Date)

1985-06

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(JaLCD0I)

<https://doi.org/10.24546/81007005>

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81007005>



日本セックス・カウンセラー・セラピスト協会(JASCT)について

山 崎 高 明

(29年卒)

昭和59年2月26日(日)、東京を離れて初めて神戸の兵庫県農業会館で第4回日本性科学会(学会長、元神大泌尿器科助教授・斉藤宗吾氏)が開催された。地元をはじめ全国から、かなりの同好の士が参集して活発な討論が展開されたが、この機会に神緑会の諸先生方に上記の協会について紹介させていただきます。

設立の趣旨

近年における人間の性行動の変化、とくに性交年齢の低下、老人の性など、人間のライフ・サイクルにおける性の問題に強い関心がもたれる時代になって来ました。これに伴い、日常臨床でも、性についての悩みや性機能不全を訴える患者が多くなっています。性の悩みの内容は非常に多種多様であり、かつ切実なものがあります。しかしながら、性の基礎的、ならびに臨床的知識については、その専門家であるべき医師でさえ、医学教育の立ち遅れから系統的に学びとる機会がなく、患者の訴える問題や障害に対して、正しく対応できる十分な素養を持っていないのが実情です。

アメリカには“American Association of Sex Educators, Counselors and Therapists”(AASECT)という約6,000名の会員をもつ大きな団体があり、アメリカ医師会、日本の厚生省にあたるHEW、産婦人科学会などの後援を受けて積極的に活動し、AASECTが主催するセミナーに参加された方には、Creditの単位が与えられるなど、資格制度が確立されております。

日本セックス・カウンセラー・セラピスト協会“Japan Association of Sex Counselors of Therapists”(JASCT)は、アメリカのAASECTとの緊密な連携の下に、わが国性科学の研究、性治療のための理論と技法の研修を目的として、設立されました。

当会は、セミナー・研究会の開催、機関誌の発行、情報・資料・資材の提供、ライセンス取得など、会員のための各種活動をすすめて参ります。とうたわれている。

セミナーの実績

現在まで(昭和54年10月～昭和59年10月)14回のセミナーが開催されている。原則として4回セミナー受講者に修了証書が授与され有資格会員として登録される。

学術集会の実績

(日本性科学会)

1、昭和56年2月22日(於東京)

一般演題

二十二題

教育講演

①性ホルモンと脳

横浜市大生
理学教授

川上正澄氏

②心療内科

より見た性障害

都立駒込病院心療内科科長 河野友信氏

2、昭和57年2月21日(於東京)

一般演題 十七題

教育講演 ①ホルモンと性行動

横浜市大産婦人科教授 水口弘司氏

②薬物と性行動

日大松戸歯学部薬理学教授 田村豊幸氏

3、昭和58年2月24日(於東京)

一般演題 十六題

教育講演 ①アメリカでのセックスセラピー

順天堂大学 阿部輝夫氏

②月経周期の発達

自治医科大学附属病院院長 松本清一氏

4、昭和59年2月26日(於神戸)

一般演題 十一題

教育講演 ①面接・電話相談からみた性とその問題点

関西性教育相談所所長 黒川義和氏

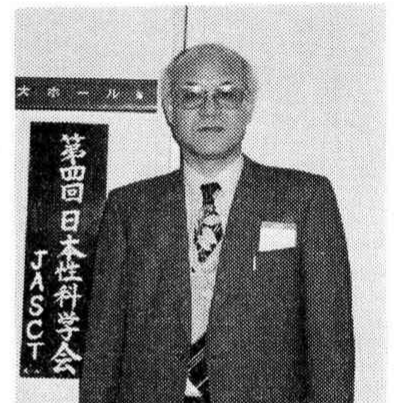
②性科学出版史考

滋賀医大泌尿器科教授 友吉唯夫氏

特別講演 ①精子の形成とその輸送

名古屋大泌尿器科助教授 三宅弘治氏

②セックス・セラピーの現状



日赤医療センター婦人科部長 野末源一氏

今後の活動方針として資格制度の整備と性治療体制の確立をはかるために、有資格会員に対する International Council of Sex Education and Parenthood (ICSEP) のライセンス取得推せんなど、資格制度の整備、充実をはかるとともに、この資格制度を活かした性治療体制を確立し、治療を希望する患者の要望に応えたいと思います。と述べられている。

次にこの協会の役員名を挙げておきます。

JASCT役員

設立年月日 昭和54年7月11日

役員

名誉会長 Patricia Schiller (AASECT)

会長 松本 清一 (自治医科大学附属病院院長)

副会長 石浜 淳美 (小山市市民病院院長)

常務理事 野末 源一 (日赤医療センター婦人科部長)
東福寺英之 (練馬総合病院院長)

理事 斎藤 宗吾 (斎藤クリニック院長)
小此木啓吾 (慶応大学精神科助教授)
本多 洋 (三井記念病院産婦人科部長)
武田 敏 (千葉大学教育学部教授)
亀谷 謙 (亀谷医院院長)

長池 博子 (長池産婦人科院長)
山崎 高明 (山崎産婦人科院長)

監事 河野 友信 (都立駒込病院心療内科科長)
長田 尚夫 (聖マリアンナ医科大学泌尿器科教授)

幹事 島村 忠義 (日本赤十字中央女子短期大学助教授)

事務局長 本郷 元夫 (新医学普及協会理事)

森本 展行 (新医学普及協会理事)

私の行った今日までの活動

私がそもそもセックス・カウンセリングの重要性に着目した最初のきっかけは、昭和38年頃兵庫県がんセンターにおいて子宮頸癌手術後の患者に対するカウンセリングの必要にせまられたことに起因している。近年子宮頸癌の診断技術の進歩に伴い、相当若年者にも初期の頸癌が見つかるようになり、したがって治療した患者の術後生活が長くなるにつれて離婚してしまうケースがみられるという現実遭遇し、これでは頸癌を治療したことが果して本人にとって幸福であったのかどうか疑問に思わざるを得なかった。そこで、がんセンター勤務当時、比較的若年の退院患者を対象に、今後の夫婦生活を送る上での注意すべき点を指導していたのである。そしてこの方面の文献などを調べ、神戸大産婦人科教室の同窓会誌に「頸癌手術後の Sex」という題で投稿したりしたもの

であった。

昭和40年開業してからも外来患者の中に心因性に起因すると思われる不定愁訴症状を訴える患者がかなりあるのを感じていたし、その上昭和53年3月日赤医療センターにおけるセックス・カウンセリングの現況を聞くにおよんで、今後の婦人科外来において、この方面にも目を向けなければならないと思いたち、昭和53年7月より始めたものである。

今日までの間に当院でカウンセリングを行った症例は表1に示す如く性問題の相談96例、思春期相談12例、更年期相談52例、その他4例の合計164例である。

現在では主に婦人科手術後、新婚性交障害（未完結婚）、更年期カウンセリングなどをやっております。

セミナー講演

・第11回セックス・カウンセリングセミナー（於東京）
私のセックス・セラピー

・第13回性治療研修会（於東京）

不感症の診断と治療

・第14回性治療研修会（於東京）

1. 未完結婚 (unconsummated marriage)

2. セックス・セビラー

学会発表

・第1回性医学研究会（於東京）

・第54回兵庫県産婦人科学会（於神戸）

当院におけるカウンセリングの症例について（セックス、思春期、更年期）

・第2回日本性科学会（於東京）

当院における更年期カウンセリングのやり方

・第55回兵庫県産婦人科学会（於神戸）

婦人科手術後および新婚性交障害のカウンセリングについて

・第3回日本性科学会（於東京）

当院における新婚性交障害例の検討

・第4回日本性科学会（於神戸）

中高年の未完結婚の3例

発表論文

・カウンセリングの実際

—婦人科手術後および新婚性交障害のカウンセリングについて—

臨産 36巻 6号 469～471頁 1982年

（昭和58年度兵庫県産婦人科学会賞授賞論文）

・婦人科の癌

—診療の基本に置くべきことと患者・家族とのコミュニケーション—

臨産 36巻 8号 611～616頁 1982年

・当院における更年期カウンセリングのやり方

日本性科学会雑誌 3巻 1号 18～23頁 1982年

- 私の行っている性生活指導法
一医師の新婚インポテンツ症例について—
産婦治療 45巻 6号 725～726頁 1982年
- 子宮癌と性生活
毎日ライフ 5月号 70～76頁 1984年
- 中高年の性指導（性機能不全の概論も含めて）
産婦の世界 36巻、秋季増刊号「性を科学する」
105～114頁、1984年

なおこれらの問題について昭和57年10月28日、昭和58年3月3日、昭和59年2月9日の3回サン・テレビで放映した。

性教育関係の講演

- 産婦人科医のための日母性教育指導セミナーおよび短波放送への収録（昭和57年6月13日、於大阪）
産婦人科医と性教育活動並びに性生活指導
- 東灘区学校保健医会（昭和55年9月19日、於東灘区医師会館）
思春期妊娠例の性意識について
- 父母と共に生徒指導を考える会（昭和56年12月10日、於本山第一小学校）
親と子の性意識のちがいについて
- 神戸市立商業高校卒業に際して（昭和59年2月23日、於神戸商高講堂）
社会へ巣立つ前に知っておきたい正しい性の知識

今後このような問題に対する患者のニーズはますます増えるものと考えられます。以上のことからおわかりのようにJASCTには産婦人科、泌尿器科、精神科、心療内科などの医師や助産婦、保健婦、カウンセラーが参加されていますので、この方面に関心をもたれる方は私まで御連絡いただきましたら入会の御紹介をさせていただきます。

神戸市東灘区住吉東町2-4-38
山崎産科婦人科医院

表1 カウンセリングの症例
（S53年7月～S59年9月）

性問題の相談	96例	新婚性交障害	31例
		性交痛	17例
		その他	31例
		手術後	{ 頸癌 7例 筋腫 10例
思春期相談	12例	14才、15才、16才、17才、18才、 19才の中絶例 18才のカンジダ症 17才、18才の神経性食思不振症	
更年期相談	52例	子宮筋腫術後6例 卵巣嚢腫術後1例を含む	
その他	4例	内分泌障害	2例
		卵巣嚢腫術後	1例
計	164例		